

幸・中原地区

地区研だより



川崎市立中学校教育研究会
健康教育部会
幸・中原地区研究会
平成27年7月13日発行

題材:「たばこの害について考えよう～こころの免疫を育てよう～」

7月7日(火)井田中学校において、平成27年度第1回幸・中原地区授業研究会・地区研究会が行われました。1年生全クラスで行われた健康教育でしたが、その中で1年4組小平拓巳教諭のクラスが研究授業となりました。

【題材設定の理由】

入学して数ヶ月の間で様々な行事を通し、仲間と団結して目標に向かって努力することの大切さを学んだ。クラスや班の話し合いも活発に意欲的に取り組んでいる一方、仲間との一体感が強すぎて、安易に他人の意見や考えに流されてしまう生徒も少なくない。夏休目を目前に控え、他者との関わりの中からきっかけが生まれやすい喫煙について取り上げることとした。

【事前学習】

- 6月8日: アンケート実施
- 7月2, 3日: たばこの害についての学習

【本時のねらい】

- 1) 喫煙は、好奇心などの心理的要因や人間関係などの社会的要因によって助長されることに気づく。
- 2) 自分なりの有効な対処法となる身につけたい力を見つける。

【授業のながれ】

導入 保健委員より事前アンケートの結果を発表。結果を振り返り、たばこを吸ってしまうきっかけについて考える。

展開 喫煙開始の動機に関するデータから、仲間とのつながりや些細な心の油断で喫煙している実態に気づく。 「こころの免疫を育てよう」

たばこの誘惑に負けないために必要なものはなにかを個人で考え、5位まで順位をつける。その後、4人班でお互いの考えを共有し、各班で決めたキーワードをもとに、標語づくりと発表活動を行う。

まとめ お互いの発表を聞き、学習内容を振り返り、自分なりの有効な対処法をワークシートに記入する。



<研究協議> 研究協議では4つのグループに分かれワークショップ形式で行いました。

- | | | |
|---|----|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・安心して話し合い活動ができる雰囲気 ・意見や反応が出やすい発問の工夫 ・グラフやデータ等資料の見易さ ・アンケート結果をうまく活用し、喫煙動機の部分につなげていた ・実施時期が的確 | よさ | <ul style="list-style-type: none"> ・保健委員の事前準備ができていた ・リーダーを中心に話し合いが活発に行われていた ・将来を見据えて、対処法を考えることができていた ・事前学習の資料を活用していた |
|---|----|--|

教師

- ・グラフの数字が見にくかった
- ・4人班で話し合ったキーワードを全体で共有してもよかった
- ・標語発表のための寸劇づくりに時間をとられすぎてしまった
- ・まとめの個で考える時間が足りなかった

生徒

<課題・提言>

- ・「気づき」から思考判断に結びつけるための展開の工夫
- ・ねらいに応じた授業内容のさらなる検討

疑問・課題

【標語】

- 吸っちゃダメ 自分の「未来」どうなるの!?
- たばこって 君の夢を こわすもの
- 吸わないよ 折れない心をもってるもん☆
- 身につけよう! たばこに打ち勝つ 断る勇氣
- とらないで 笑顔の輝く 私の未来 ●たばこへの 理解深めて 断ろう
- 正しい知識を持ち、誘惑に負けない心をもって、大切な友達と助け合おう



【指導講評: 宮内中学校 本間部会長先生】

- ・指導内容が保健学習や他教科と重ならないような工夫をお願いします。
- ・事後活動まで計画されているので、「家で話してどうだった?」までつながるとさらによい。

【指導講評: 総合教育センター指導主事 木村めぐみ先生】

- ・クラスの雰囲気よさを感じ、発表や発言時の生徒の姿勢がよかった。実施時期を含め、他人や仲間の言動に影響されやすい発達段階の特徴をいかし、よいタイミングだった。保健学習との関連も考えていてよかった。まとめて自己決定する時間を大切に。

【指導講評: 健康教育課指導主事 田中理恵先生】

- ・全クラス一斉展開でホワイトボードや画用紙等発表方法などクラスごとの工夫があり、まさに学級活動の醍醐味を感じる授業だった。標語を発表するための寸劇がプラスになっていた。標語が授業の成果ではなく、話し合いの過程が成果につながる。知識だけにならないような工夫を。文部科学省から発行されている「かけがえのない自分」も活用してください。